

2020 7.11 [土]

メディアガーデンプレス

www.mgpress.jp

05 若者 地方でデリバリー 挑戦

06 地域 鉛筆1本で緻密に表現

07 地域 こわもて風のアマビエ

記事、市外局番のない電話番号は0263地域です

MG プレス

Sat. 信州の真ん中から発信
松本市・塩尻市・安曇野市・大町市・東筑摩郡・北安曇郡・木曾郡

【お問い合わせ】〒390-8585 松本市中央2-20-2 ●編集 ☎0263-32-1139(代) FAX0263-32-3388 ●広告 信濃毎日新聞松本本社 ☎0263-32-2860 MGプレス ☎0263-32-5539 FAX0263-32-5599



他の出演者も稽古に励む田村真央さん(右から2人目)

舞台「じゃり」に出演 田村真央さん

市民参加型演劇 松本の良さ実感

「誰でも自由に演劇に触れることができる松本って、実は東京よりもすごいかもしれない」と語るのは、塩尻市広野村出身の田村真央さん(21)。都内の大学で演劇学を専攻、将来は俳優を目指す。演劇との出会いは中学生の時。まつもと市民芸術館(松本市深志3)が主催する市民参加の演劇講座「まつもと演劇工場」の発表を見て引き込まれた。

都内で学業と芝居に打ち込む中で、市民に近い松本の演劇スタイルの良さを実感した田村さん。16日から市民芸術館などで上演する劇団TCアルプの舞台「じゃり」に出演、演劇と出会った松本で、

EH酒造株式会社
安曇野市豊科高家1090-1
TEL.0263(72)3011

03面に続く

地域 Local News

舞台で地元へ恩返しをしたい

クローズアップ (01面から続く)



「地元の舞台を大切に活動していきたい」と話す田村真央さん

TCアルプ「じゃり」に出演 田村真央さん 塩尻市出身

舞台に魅了された東京名門劇団に本番に向けて熟練が増す稽古場。田村真央さんが、劇団TCアルプのメンバーや串田和美さんらの発想力に押されながらも、一生懸命に何かを表現しようとしていた。「台本がなくて、一からつくるのは経験したことがないスタイル。意見を言ったり表現をしてみたり、少し恥ずかしい時もあるけれど、今できることをやっていきたい」と話す。

心ここにあつた勉強と読書とパイオリンが、ずっと生活の中心だった。才藝団(松本市)中学校2年の時、「まつもと演劇工場」に参加している音楽教諭から「芝居に出るから」と誘われ初めて演劇を見た。舞台上では普段とはまったく違う姿になりきる教諭や、演じる人々のパワフル。それまで経験したことのない面白さを感じた。

松本深志高校1年の時、まつもと演劇工場に参加した。だが、その際に思ったのは「舞台の上で表現するのは自分には向いてないかな」。そして続けるのをやめたが、それでもこのある度に演劇が頭にちらついていた田村さん。

「表現したい気持ち」が、再び舞台へと田村さんをいざなう。大学入試と並行し、加藤武さんや江守徹さんなどで知られる文学座(東京)の演劇研究所に応募、共に合格した。

「舞台で地元へ恩返しをしたい」と話す田村さん。市民芸術館があり、俳優がいて、身近に演劇があったからこそ自分の世界が広がったと実感する。一方、最初の頃の自分がそうだったように、なかなか演劇に近づきにくい人の気持ちも分かる。「地元出身の自分が出演することで、1人でも多くの人が芝居に興味を持ち、足を運んでくれればうれしい」

共に学び、憧れてもきたTCアルプの俳優陣と一緒に立つ舞台。「夢であり、目標だった。頑張るって臨み、松本の演劇を若い人たちに伝える一助にもなれたら」と話す若い俳優が、本番でどんな姿を見せてくれるか楽しみだ。

メモ

【「じゃり」のチケット】 まつもと市民芸術館(16~18日)は前売り完売。上土劇場(22~26日)は残席あり。市民芸術館チケットセンター ☎33-2200